

■ウシミアブ？

マンションの廊下でやっと雌アブを見つけました。まだ、脚をばたばたさせていたので、強引にビニールの袋に入れて、そのま



Fig. 1

ま冷凍庫に入れておきました。先ほど検索表で調べてみたら、どうやらウシミアブらしいことが分かりました。そこで、顕微鏡写真を撮って要点をまとめてみました。

■アブ科の属への検索

検索表はこの間アカウシアブで用いた次の2つの文献を用いました。

河合禎次、谷田二三著、「日本産水生昆虫」(東海大学出版、2005)。

早川博文、「日本産アブ科雌成虫の分類
1. アブ属ウシアブ群、アカウシアブ群及びその関連種」、東北農試研究資料 10、35 (1990)。

まず、見つけたアブの写真(写真)を載せます。外観はいつもよく見るアブのようです。両方の複眼が接していないので雌ですね。まず、属の検索表のうち、アブ属に至る項目を列挙します。

アブ科の属への検索

- ①触角鞭節は5環節以下からなる
- ②後脚脛節に距棘がない
- ③翅は透明かくすんでいる
- ④触角鞭節の背突起は短い
- ⑤単眼瘤がなく、複眼に微毛がない
- ⑥頭部は胸幅と同じか小さく、複眼は黒褐色～緑色である
- ⑦触角鞭節の背突起は大きい

アブ属

この間と同じようにそれぞれの項目に關係するところには、写真に番号と項目を書き入れました。まず、最初は触角についてなので、その拡大写真をFig. 2に載せます。変わった形をしています。鞭節は第3節から先端までを指すので、全部で5節になっています。従って、①はOKです。次は後

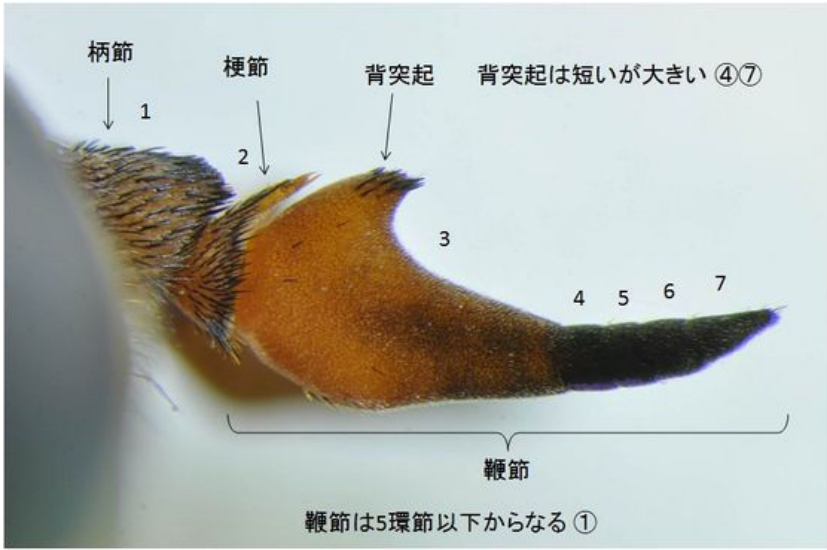


Fig. 2

脚脛節についてなので、その部分の写真をFig. 3に載せます。後脚脛節には距棘はありません。これではOKです。③については、Fig. 1に示すように翅は透明というよりはくすんでいるといふべきかな。④は触角の背突起ですが、Fig. 2に示すように背突起があります。これが



Fig. 3

短いというのは、もっと長い種を除くため、これはこれでOKです。⑤についてはFig. 4を見てくだわい。

これは頭部の写真ですが、単眼瘤はなく、また、複眼に微毛はありません。これではOKです。⑥はFig. 1の通り、頭幅はほぼ

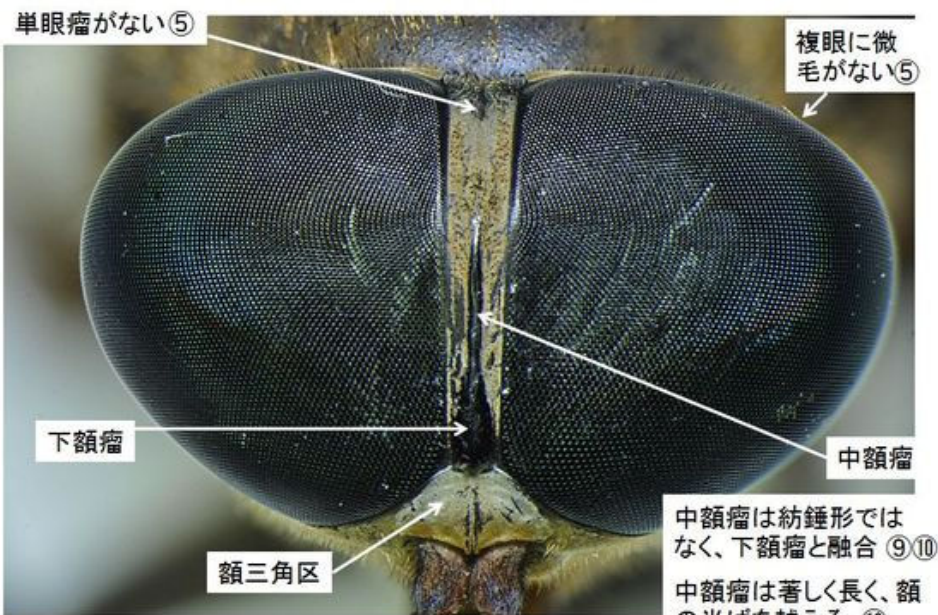


Fig. 4

胸幅と同じです。また、複眼は黒褐色です。最後の⑦は、また、触角鞭節の背突起についてです。比較の問題になりますが、大きいというのでOKとなります。これでアブ属になりました。

■アブ属の種への検索

次は種への検索表で、この個体はウシアブだと思われるので、その部分だけを書き出しました。また、順番に見ていきます。⑧と⑪は翅脈についてなので、翅の写真をFig. 5に載せます。

⑧に書いてあるR5とM1脈は、上の写真のように翅縁で離れています。従って、OKです。⑪のR4脈の小枝も矢印で示してありますが、はっきりとした小枝があります。⑨、⑩、⑫は中額瘤についてです。Fig. 4をみると、中額瘤は下額瘤から長く伸びた黒い隆起であることが分かります。この形から⑨と⑩はOKになります。⑫はこれが額の半ばを越えるというので、これもFig. 9を見れば分かります。

次は⑬の腹背の模様についてです。腹背の中央の三角形を中央三角斑というようですが、その両横に長三角形の斑(亜側斑)が

アブ属の種への検索

- ⑧翅脈 R5 と M1 は広く開いている
- ⑨中額瘤は紡錘形でなく、下額瘤と連なる
- ⑩中額瘤は下額瘤と融合して区別できない
- ⑪翅脈 R4 に明瞭な小枝がある
- ⑫中額瘤は著しくながく、額の半ばを越える。中～大型種
- ⑬腹背第 2 節には亜側斑がなく、後縁斑が狭い
- ⑭額三角区は白色で額の色と異なる

ウシアブ群

ウシアブ

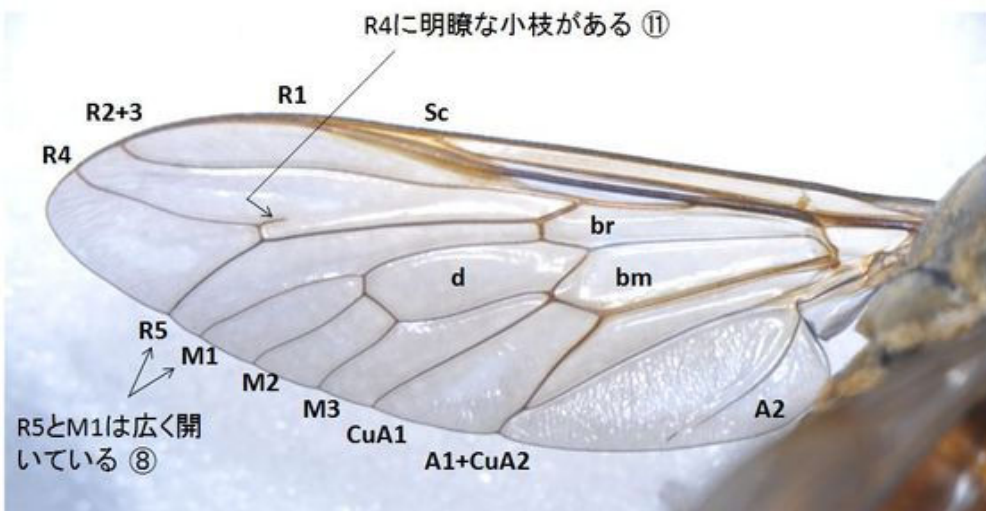


Fig. 5

あるとハタケヤマアブになります。この個体にはないのでOKです。また、各節の後縁にある斑は狭いということも見ると分かります。最後の⑭は額三角区の色についてです。Fig. 7を見てください。



Fig. 6

触角と複眼で囲まれた三角形の部分を額三角区というようですが、「ニ」が白いとウシアブになります。この写真では白いように見えます。「これで白いというのか、もっと白くなる必要があるのかはちょっと判断しかねるのですが、たぶん、ウシアブで合っているのではないかと思います。」

ついでに検索には関係ない写真も撮ったので、載せておきます。



Fig. 7

「Fig. 8は口吻の部分です。この尖った部分で刺すのでしょね。(追記:通りすがりさんから、「アブは刺すのではなく、皮膚を切り裂いて出てきた血を吸っています。切り裂くとは言っても傷口は小さいので、刺されるのと変わりませんし、痛いことにも変わりませんがね…」というコメントをいただきました。これはちっとも知りませんでした。また、知識が増えました。どうも



Fig. 8

有難うございました)

それから、先程の額三角区の拡大をFig. 9に載せます。これを見ると白く見えますね。

ウシアブらしい個体の検索をしてみました。検索表は♀用しかないので♀を探していたのですが、やっと見つかりました。アブは日本に100種程度なので、少し頑張って調べ



Fig. 9

てみようかなと思っています。